

1 調査日 平成22年7月29日(木)

2 調査の概要

(1) しが県民芸術創造館(草津市野路六丁目)

しが県民芸術創造館は、平成18年度から全県域を対象とする県立ホールとして、新たな運営を開始した施設であり、舞台芸術創造事業や次世代文化芸術推進事業などの種々の事業を推進している。その一方、昨年12月に県が策定した外郭団体および公の施設見直し計画では、同館が抜本的な見直し対象の施設とされるなど厳しい状況にある。そこで、県民の芸術創造活動に対する支援の取り組みや施設の状況などについて調査を行った。



委員からは、館の独自性を持つことや圏域をどのように設定するのが大切であるという意見や大学等との連携の必要性を求めるなどの意見が出された。

(2) 芹谷ダム関連地域[集団移転予定地、水没予定地](多賀町)

芹谷ダムは、従来から芹川流域の治水対策として建設事業計画が進められてきた経緯があったが、県は、平成21年1月にダム建設事業の中止を決定した。県はダム建設事業中止に伴う地域整備や生活再建などの地域振興を図ることは重要な課題であるとし、現在、多賀町と連携を図りながら地元住民との協議等を進めている。そこで、芹谷地域の現況等についての調査を行った。



委員からは、水没予定地域の生活再建に誠意を持って取り組むべきであるといった意見や具体的な支援策を明確に打ち出すべきであるなどの意見が出された。